

V S O P

飯豊町立飯豊中学校
第3学年通信
No.4
令和3年4月16日
文責 中川 修

やれば 「で・き・る!!!」

今の時期だからこそ大切にしたいこと



学校が始まって2週目。係や委員会を決める時間や、様々な集会での指導など、通常の授業とはちょっと違う時間が多かった今週でしたが、そんな中だからこそ、皆さんの頑張りと成長がよくわかる1週間でもありました。

学習面や提出物では、「期日まで出ていない提出物の掲示で、黒板が埋め尽くされています…」と先生方が嘆いてしまうほど忘れ物の多いスタートでしたが、日を追うごとにその名前が減り、皆さんの意識の変化が伝わってきます。教頭先生や小松正先生からは「3年生の給食準備が劇的に早くなったとね」と時間の使い方や係活動に対する行動の変容をほめていただきました。今年から数学の授業でお世話になっている皆川先生からは、3年生の授業に対する集中力や取り組み方に、お褒めの言葉をいただいています。

そうなんです！みなさんは「できる子」だったのです。

一人一人の変化は大きくなくても、ちょっとした努力や変化は、必ず自分と周りの雰囲気を変えます。3年生はその変化を敏感にとらえ、自分の行動にも生かそうとする力が、とても優れているのです。

時間割での授業もスタートし、「普通の日常」が始まっています。だからこそ「いい姿を普通の日常」にしていくことが、一人ひとりにとっても、学年全体にとっても大切になると思います。

いじめ防止講話の感想から

いじめにはいろんな種類があって、そこには様々な理由があることを再確認しました。僕はネットでも学校生活でも正しい判断をして生活していきたいなと思いました。いじめによって亡くなった方もいると聞き、悲しい思いになってしまったので、飯豊中では、明るく楽しい学校生活を送れるように気をつけていきたいです。(宮 遙来くん)

はじめにパーセンテージを見たときは、いじめたり、いじめられたりと同じくらいのパーセンテージだということを知って、とてもびっくりしました。少し恥ずかしい人や身バレしたくない人には(ネットは)とても便利ですが、匿名だからこそその怖さや危険があるので、これからも人が怖がったり嫌がったりするコメントはしないで、明るい言葉であふれるように、自分1人からでも頑張りたいです。(安部 殊理さん)

僕は今回の講話を聴いて、いじめから自殺につながってしまうことがあると聞いて、とても怖いなと思いました。ふざけて言ったことがいじめになってしまうので、そんなことにならないように、相手が傷つかないかをよく考えるようにしたいです。また、僕は今回の講話を聞いて一番怖いと思ったのはネットいじめです。ネットの使い方を間違えないように気をつけたいです。(手塚 皓喜くん)

「仲間はずれ、無視」などは、ほとんどの人が、したりされたりということが多いのですが、「それはしょうがない」などと思わずに、少しでもなくしていこうと思いました。少しのからかいで殺されてしまった人がいたと聞いたので、友達の関わる時には、言葉遣いに気を付けたいと思います。もし、自分が何か嫌なことをされたら、親だけでなく先生にも相談したいし、いじめられている人がいたら声をかけたいです。(田辺瀬里加さん)

白熱の中にも楽しい時間が過ごせました (第1回学年レクの様子から)

臨時日課の最後の時間、学年レクで「大縄跳び」を行いました。シンプルな運動ですが、掛け声や回し手とのタイミングなど、みんなの気持ちが一一致しなければうまくできない運動です。1組のリードで最終種目を迎えましたが、最後のチャレンジで大逆転が発生。2組の大逆転勝利で終了しました。

毎日頑張っているからこそ、こんなひとときがとても楽しく思えます。何より、勝ち負けだけでなく、仲間とのひと時を楽しもうとする3年生の様子がとても素敵な1時間でした。

	1組	2組
男	34	22
女	29 ⁶³	16 ³⁸
女	10 ⁷³	19 ⁵⁷
計	74	6×3=18 75 ⁴⁷